

平成30年度 一般 平成29年度 一般

て実施することになる。この事業に対する国からの補助金はないが、劣化部分の修繕等を行う際は、対象となる補助金がないかよく検討する。



シート防水で、雨漏り解消に

意見 国や県の補助金を活用すべきである。

意見 多くの経験を持つ業者だけでなく、町内業者にも経験を積ませ、育てるべきである。

問 教育施設劣化状況調査は。

答 文部科学省通知に基づき、平成32年度までに学校、幼稚園、給食センターの長寿命化計画を策定するため、現状調査を行う。公共施設等総合管理計画と基本的な考え方は同じだが、教育施設が先行し

ベクシオンがあり、1台は更新済みである。

今回は残りの2台を更新し、調理の効率化、給食のおいしさの向上を図る。調理業務を委託している業者には、調理機器の管理には十分注意するよう説明している。

問 特色ある学校づくり事業は。

答 平成29年度の取組に関する報告は、3月末までに取りまとめる予定である。新年度については、12月に行った教頭会での中間報告を基に、29年度並みで予算計上している。

問 学校教育指導員とは。

答 指導員は、いじめや不登校への指導助言、教員の研修の精査など、町の教育について統一的な指導をしていたため、教育委員会に1名配置する。以前から現職教員の指導主事について検討していたが、費用面で難しいた

意見 委託業務が増えている中、町でできる設計は、町で行うべきである。

問 給食センターの設備更新は。

答 給食センターには3台のスチームコン

め、教員OBを配置する。指導員候補として

は、学校の実態をよく知る、元校長を考えている。

問 ホッケー普及促進事業は。

答 ホッケー公園の日本語版、英語版のパンフレットを1000部作成する。パンフレットはホームページからダウンロードもできるようにする。また、ホッケー公園への看板を道路案内表示として設置する。

意見 ホッケー公園のページにつながるQRコードを、積極的に周知できるように工夫が必要である。



保護者が送迎しやすい保育所へ

◎「保健福祉部所管」

問 黒田保育所の整備は。

答 配管を撤去し、公共下水管へ接続する。また、インスターロッキングのスペースへ、保護者送迎用の駐車場を設置する。駐車場の境にはフェンスを設ける。

問 保育所・認定こども園等施設整備は。

答 補助金額については、国の基準額を元に予算計上している。実際に補助の対象となる整備部分は、事業者から詳細設計が提出された後、認定主体である県と協議しながら検討する。国が負担する交付額は、毎年度基準額が見直されるため、変更される可能性もある。町内に補助金が交付されていない認定こども園があるのは、採択条件を満たしていないためだ。

問 認定こども園等施設型給付費は。

答 町外の施設も含め、町内の児童が利用する10の施設に対し給付している。

問 社会福祉総務費補助金減額の理由は。

答 平成29年度に解散したNPO法人への補助金が削除された。

問 平成29年度に交付した補助金は、返還を受けている。NPO法人の利用者だった方は、作業所等新たな居場所を見つけてもらっている。

問 空き家活用支援事業は。

答 助成については、県の補助金は条件が決まっている。町の補助金の条件は現在研究中である。

問 コミュニティバスの運行費の増額は。

答 平成30年度からは、伊予鉄道の正職員の方で運行する。そのため、運行にかかる人件費が増加した。

意見 補助金交付要綱の条件に合致しているか、十分確認の上、実施してほしい。